

WWWブラウザ Hot Line 2001

THIS MONTH'S TOP NEWS

パブリックベータ登場!
これがインターネットエクスプローラ 6 の全貌だ!

3月26日、かねて登場が期待されていたインターネットエクスプローラ (IE) 6 のパブリックプレビュー版が登場した。今回は、一見するとマイナーバージョンアップのようにも思えるが、新バージョンに秘められた数々の新機能と、その導入方法をいち早くお届けしよう。

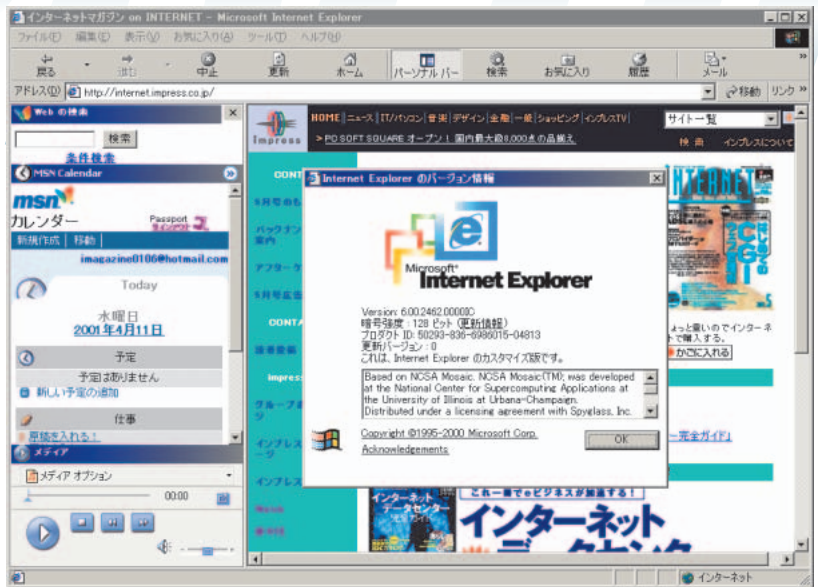
派手さはないが 着実なバージョンアップ

バージョン5から2年以上を経て、ついにウィンドウズ版IE 6のベータが公開された。完成度の面で金字塔を打ち立てた前バージョンの思想はほぼそのまま受け継がれており、その変化は驚くほど少ない。

昨年ネットスケープはバージョン6を発表し、カスタマイズ可能な「サイドバー」を導入した。インスタントメッセージ (IM) やニュース、検索といった情報をウェブを見ながらサイドバーでチェックできる「統合性」を強調したのである。

IE 6はこれに対抗するかのようにIMや検索、メディア再生の機能などをエクスプローラバーに組み込み、それをカスタマイズ可能にした。これらはかつて見られた単なるブラウザのシェア争いではなく、AOLのコンテンツを組み込んだネットスケープに対して、MSN メッセンジャーなどをはじめとするマイクロソフトのコンテンツ資産を大量投下したIE という「AOL 対 MSNの総力戦」の構図でとらえたほうが妥当だろう。

とはいえ、IE 6はインターネットの統合ソフトという位置付けを強化しただけでな



ウィンドウズMeで起動させたインターネットエクスプローラ6。「ヘルプ」「バージョン情報」によると、バージョンおよびビルド番号は「6.00.2462.0000IC」となっている。

く、ウェブページの表示速度や起動時間、各種標準規格への準拠など、ブラウザとして本質的に強化すべき部分をしっかりサポートした仕上がりを見せている。インターネット経由でバグ情報を通知したり、プライバシー保護規格を採用した新機能を搭載するなど、未解決だった問題についても新たな回答を打ち出したバージョンであり、使い込むうちにその着実な変化をつかみ取れるものとなっているのだ。



3月26日に公開された英語版に続き、日本語版もほぼ同時に公開された。パブリックプレビュー版のダウンロードは下記のサイトから。

www.microsoft.com/japan/ie/preview/

パブリックレビューのインストール手順

IE 6はマイクロソフトのウェブサイトからオンラインインストーラーをダウンロードし、インストールウィザードでインストール内容を選択してから必要なコンポーネントをダウンロードする。

IE 6はIE 5.5と共通のコンポーネントも多い。バージョン5.0や4.xのユーザーは先に5.5を本誌付録CD-ROMからインストールし、カスタムインストールで最新バージョンが必要なものをダウンロードすると時間を節約できるだろう。

今回注目すべきは、「インストールに必要な条件」にも書いたとおり、ついにウィンドウズ95が対応OSの一覧から外されたことだ。2000年末でウィンドウズ95のパッケージ出荷を終了したマイクロソフトの状況を見るに、今後の各種プロダクトでもウィンドウズ95のサポートは行わないと思われる。

インストールに必要な条件

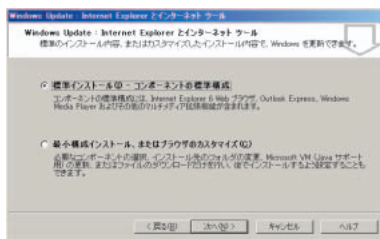
CPU : 486/66MHz以上 (ペンティアム以上推奨)
OS : ウィンドウズ98、98SE、Me、2000、NT4.0
NT4.0はサービスパック6aインストール済みであること

	RAM	ハードディスク容量
98	16MB以上	最大25.8MB
98SE		
Me	32MB以上	最大11.6MB
2000		最大75MB
NT4.0		

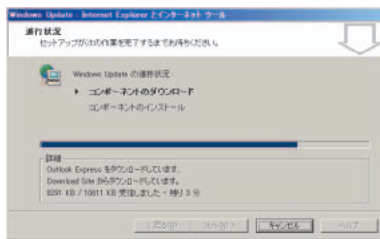
186ページ右下のサイトでダウンロードした「ie6setup」(492KB)を起動する。これまでのバージョンでのインストールと同じく、開いているIEのウィンドウやほかのアプリケーションはあらかじめ終了させておく。



インストールオプションの選択。「標準」を選択するとIE本体やアウトLOOKエクスプレスなど、あらかじめ設定された標準的な構成をインストールする。今回は「最小構成インストールまたは...」を選択した。



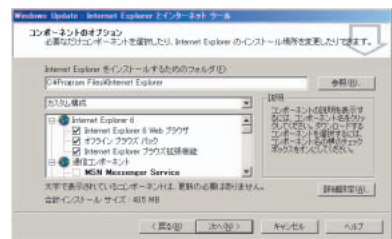
セットアップ内容を確認すると、インストールに必要なファイルのダウンロードが始まる。56kモデムでは数十分から1時間くらいかかるので、ダウンロードとファイルのコピーが終了するまでしばらく待つ。



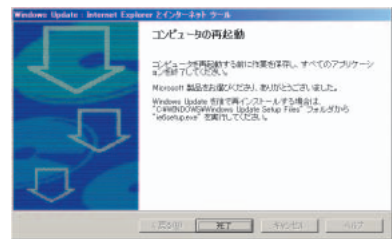
起動すると、セットアップウィザードのウィンドウが開く。プレリリース版のため、使用許諾契約書の文面には、正式版と異なる独自の契約文が記載されている。「同意する」をチェックして「次へ」を進める。



インストールオプションの自動設定画面。チェックボックスが強く表示されていることはすでに最新版がインストールされていることを示す。必要なオプションにチェックを入れたら「次へ」をクリック。

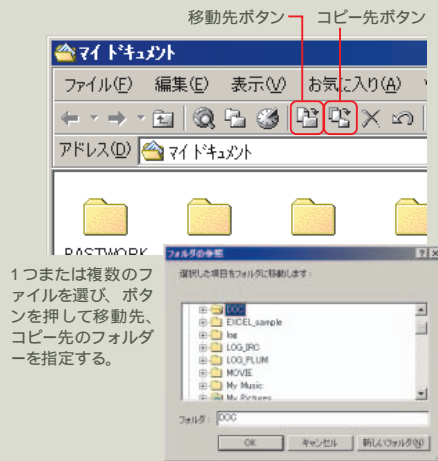


この表示が出たらファイルのコピーは終了。指示に従って再起動すると、システム設定が行われてインストールは完了だ。デスクトップの「Internet Explorer」アイコンをダブルクリックして新バージョンを体験しよう。



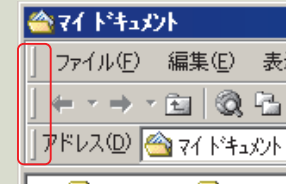
ツールバーのちょっとした変化

IE 6のインストール後は、エクスプローラでも微妙にインターフェイスが変わるが、ここではその中から2点ほどを紹介しよう。1つ目は、ツールバーに新しく登場した「移動先」「コピー先」ボタン。これは選択したファイルの移動先、コピー先をフォルダーツリーの中から指定するダイアログウィンドウを開くボタンだ。2つ目は「表示」「ツールバー」メニューの下にある「ツールバーの固定」オプションだ。これまでツールバーのレイアウトは自由に変えられたが、誤操作も多く、ちょっとしたドラッグ操作で変なレイアウトになってしまうのが困りものだった。固定をONにしておくと、普段使うときにレイアウトが変わるのを防げる。

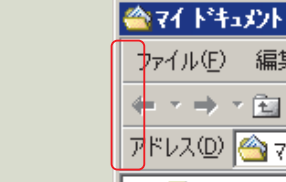


1つまたは複数のファイルを選び、ボタンを押して移動先、コピー先のフォルダーを指定する。

[ツールバーの固定-OFF]



[ツールバーの固定-ON]



左端のレイアウト変更の可能な表示が消え、常に固定して表示されるようになる。ツールバーの右クリックメニューからも設定できる。

新登場の「パーソナルバー」

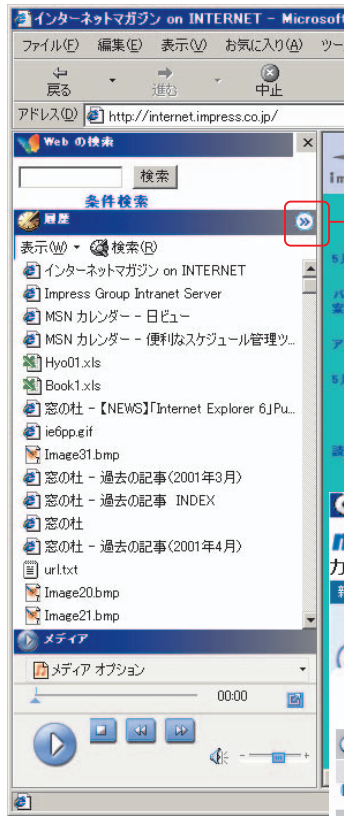
ツールバーに表示されている「パーソナルバー」をクリックすると、上下に3段で区切られたエクスプローラバーが表示される。上段には「Webの検索」、下段には「メディア」、そして中段には通常のエクスプローラバーが1つだけ表示される。この中段部分は右側にあるメニューボタンで設定して、自分の好きなバーを表示させておこう。多数のエクスプローラバーを追加したあとで、自分をもっともよく使うバーを「パーソナルバー」ボタンをクリックするだけで表示できるのだ。

カスタマイズできるエクスプローラバー

IE 6でもっとも大きく変化したのはエクスプローラバーだ。インスタントメッセージ機能を持つ「Contacts」（連絡先）バー、ウィンドウズメディアプレーヤーの再生機能を持つ「メディア」バーなど、バラエティーに富んだ新しいバーが追加された。

また、「表示」「エクスプローラバー」メニューに「エクスプローラバーの追加と削除」という項目が追加され、IE本体だけで簡単に追加や削除などのカスタマイズができるようになった。

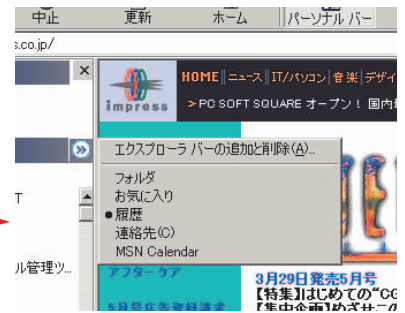
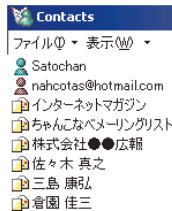
エクスプローラバーは開発者向けのサイトでもカスタマイズの方法が公開されており、ウェブサイトのボタンをクリックすると、そのサイトの情報を表示するバーをインストールする方法などもすでに公開されているので、あっと驚くような便利なエクスプローラバーの登場に期待したい。



パーソナルバー

「Webの検索」はMSN検索を利用している。「メディア」バーはラジオバーに替わって登場したもので、別途メディアプレーヤーを起動せずに音声やビデオを再生できる。ポップアップ表示も可能だ。

連絡先



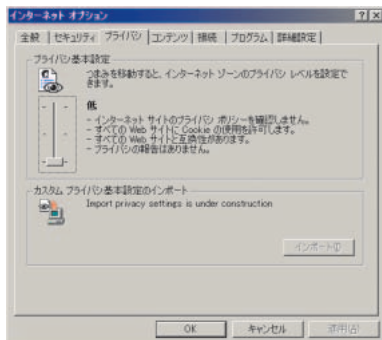
パーソナルバーの構成を変更

パーソナルバーの中段右側のボタンをクリックして、表示されるバーの内容を変更できる。メニューにないバーも「エクスプローラバーの追加と削除」で追加表示できる。



新登場のエクスプローラバー

それぞれMSNカレンダー、MSNBCニュース（米国版）、MSNメッセージャーサービスの機能を持っていて、必要な情報がウェブを見ながら随時得られる。カレンダーとニュースは「エクスプローラバーの追加と削除」で追加する必要がある。



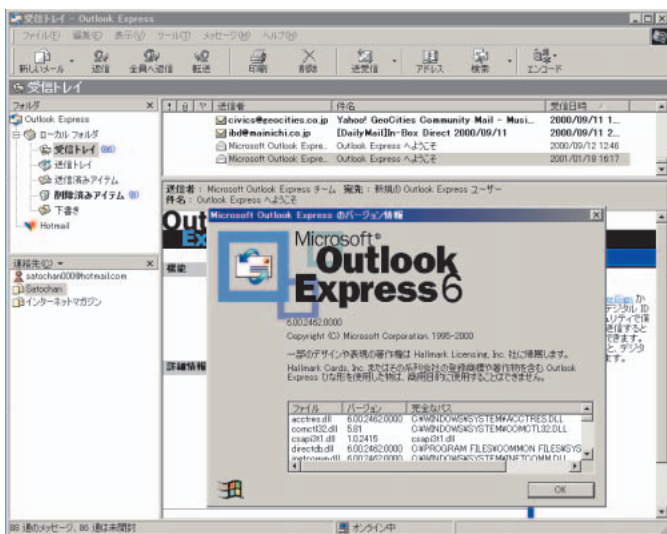
「プライバシー」の設定

IE 6はW3Cで策定中のP3Pをサポートし、サイトごとにcookieによる個人情報の扱いを制御したり、ブラウザ側でプライバシーポリシーを取得したりできる。これらの状態はステータスバーに表示されるプライバシーマークをクリックすると、報告ウィンドウが開いて随時チェックできる。



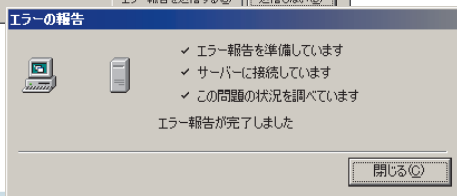
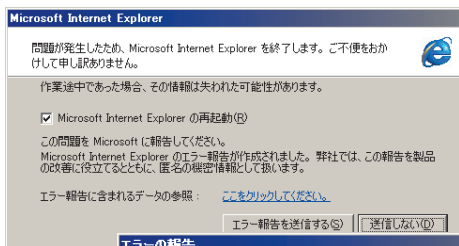
エクスプローラバーの追加と削除

「新しいエクスプローラバーを追加」をクリックすると、未登録のエクスプローラバーが表示されるので、追加したいものを選ぶ。現在は英語のみだが、いずれは日本語化されたメニューが登場するだろう。



アウトLOOKエクスプレス6

アウトLOOKエクスプレス6のウィンドウ右側にはIEと同じように「連絡先」バーが追加された。アドレスをクリックするだけでメッセージの作成画面を開いたりインスタントメッセージをやりとりできたりする。また、Hotmailアカウントを持っていればHotmail宛てに届いたメールも読み書きできる。



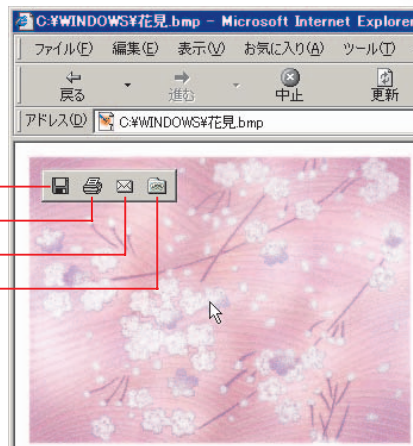
エラーの報告

IE 6では万が一不正終了をしてしまった場合でもすぐにブラウザが再起動するようになった。ここで「エラー報告を送信する」を選べば、インターネット経由でマイクロソフトに送信して問題の発生とその状況を報告し、今後のバージョンアップおよび修正のための資料として利用される。

IE 6はウィンドウズXPで真価を発揮する？

新鮮味を欠いた「守りのバージョンアップ」とも思えるIE 6が目される背景には、新OS「ウィンドウズXP」の存在がある。ウィンドウズ95以来の大幅なデザイン変更となる「Luna」インターフェイスに彩られた新OSのベータ版にはすでにIE 6が搭載されている。IE 6のエクスプローラバーにウィンドウズXP、オフィスXPに使われるボタン類が投入されているのも強い連携性を暗示する要素だ。

今後の戦略へ向けての重要な基盤としてIE 6そしてオフィスXPがユーザーの必須アプリとしての地位を確保するのは間違いのない。以前のバージョンのパブリックベータから正式版の登場までにかかった期間を振り返ると、IE 6も2～6か月のうちに正式版が公開されるだろう。ただ、ウィンドウズXPは今秋以降の登場となるので、その真価が発揮されるのはもう少し先になりそうだ。

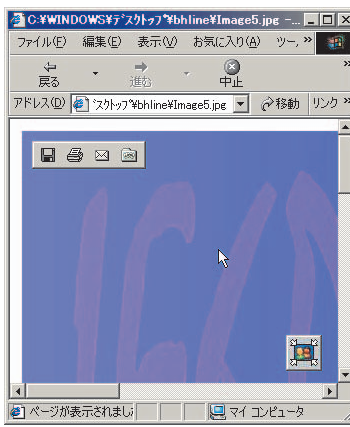


画像の保存
 画像の印刷
 メールで送信
 「マイピクチャ」に保存

イメージツールバー

画像にマウスを当てると画像操作のツールバーが左上部分にポップアップで表示される。画像にリンクが張られている場合は無効になるので注意しよう。「インターネットオプション」の「その他の設定」タブでこの機能の有効/無効を設定できる。

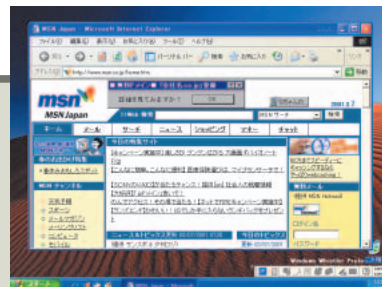
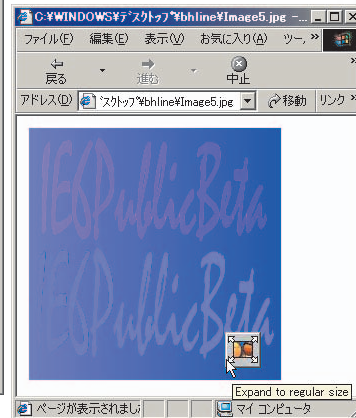
▼実寸表示



画像の縮小表示

ウィンドウに収まりきらない画像にマウスを当てると小さなボタンが画像の右下にポップアップ表示される。これをクリックするとウィンドウサイズに合わせて全体を縮小表示してくれる。逆に縮小表示された画像には実寸表示させるためのボタンが表示される。上は1000ピクセル四方の画像を表示させたところ。

▼縮小表示



ウィンドウズXP(ベータ版)で動作するIE 6。外見の変化だけでなく、複数開いたウィンドウを一括して操作できるなど、OSとの連携性を強化したIE 6が登場する日は近い。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp